

令和8年度 牧之原市立地頭方小学校 学校評価

校長名	池上 友一
-----	-------

1 昨年度の成果と課題

- ・子供の思いに沿った活動を展開することで主体性を育成する(教育方針)について、保護者の共感を得られた。
- ・コミュニティー・スクールの仕組みを活用した体験活動が充実している。
- ・教職員が子供の失敗を肯定的にとらえ、子供のよさを価値づけることによって自己肯定感や挑戦する意欲を育てていく必要がある。

2 本年度の基本方針(経営の重点)

- ・重点目標を「自分色で輝こう」とし、子供の持っている個性を集団の中で生かすことができるよう、教職員・保護者・地域が一体となって取り組む。
- ・挑戦することを奨励し、失敗も成功も共に分かち合う集団を作る中で、主体性・コミュニケーション力・協働性を育む。
- ・友達と対話することを通して、考えを深めたり広めたりすることによって、「わかった・できた」を実感する授業を実現する。

3 具体的な取組

目 標	具体的な取組	成果目標	評価	成果と課題
【授業づくり】 子供が「わかった・できた」を実感する授業づくりをする。	<ul style="list-style-type: none"> ・対話場면을効果的に組み入れた単元デザイン(まとまりごとの授業計画)を作成して、授業を行う。 ・対話に必要な聴く・話す・考えるためのスキルを段階的に身に付けさせる。 ・授業を見合う習慣を定期的に設け、教職員が相互に学び合ったり、子供の学び方を価値づけたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えと比べながら聞くことができた。(子供100%、教職員100%) ・理由をつけて発言することができた。(子供90%、教職員90%) ・友達と話し合うことは楽しい。(子供90%) 		
【生徒指導】 自分らしさを大切にできる子を育成する。	<ul style="list-style-type: none"> ・教育活動全体で、自己決定・自己選択の場を設定する。 ・「気づきの星」の活動で、子供のよさを価値づけしていく。 ・子供主体でよりよい学校生活をするためのルールや活動を決め、定期的に振り返ることで改善を促す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地頭方小学校は楽しい。(子供100%) ・お父さんは学校に楽しく通っている。(保護者95%) ・友達を公平に見て、一人一人のよさを見つけ、大切にしている。(子供100%) ・あいさつがしっかりできる。(子供100%、教職員90%、保護者90%) 		
【コミュニティー・スクール関係】 保護者・地域と学習活動の目的を共有して、協働して子供を育成する。	<ul style="list-style-type: none"> ・学校運営協議会や学級連絡会で学校の教育活動について共通理解を図る。 ・生活科や総合的な学習の時間「きごうか」で地域の人・もの・ことを生かした学習を展開する。 ・教職員が地域の協力者と活動の目的や育てたい資質・能力等を共有する時間を設ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地頭方小学校のCSDや梅ちゃんルームを知っている。(子供・保護者100%) ・地域の人と学ぶ学習は楽しい。(子供100%) ・目的を共有して、地域と連携した活動を実践することができた。(教職員100%) 		
【教員の働き方】 地頭方小学校の子供たちのために働くことにやりがいを感じ、学校全体に貢献しようとする。	<ul style="list-style-type: none"> ・地頭方小学校の教育方針と自分の役割を理解して教育活動を進める。 ・学校全体の子供のよさを見つけ、伝える。 ・見通しを持って仕事をする中で、ワークライフバランスをとり、笑顔で元気に子供と向き合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地頭方小学校の教育方針に沿って、自分の力を発揮することができている。(教職員100%) ・学級・学年問わず、いろいろな子供のよさを価値づけることができた。(教職員95%) ・地頭方小学校は働きやすい職場である。(教職員100%) 		